

暫定議題
第22回科学委員会に付属する拡大科学委員会
インドネシア、ジョグジャカルタ
2017年8月28日－9月2日

1. 開会

- 1.1. 参加者の紹介
- 1.2. 会議運営上の説明

2. ラポルツアーの任命

3. 議題及び文書リストの採択

4. SBT 漁業のレビュー

- 4.1. 国別報告書の発表
- 4.2. 事務局による漁獲量のレビュー

5. OMMP 会合からの報告

6. CPUE モデリング部会からの報告

7. 科学調査計画及びその他休会期間中の科学活動の結果のレビュー

8. 漁業指標の評価

9. 資源評価及び近縁遺伝子推定値のレビュー

- 9.1 近縁遺伝子推定値のレビュー
- 9.2 SBT 資源評価のアップデート

10. SBT の資源状況

- 10.1. メタルール及び例外的状況に関する評価
- 10.2. SBT 資源状況の概要

11. SBT の管理に関する助言

資源状況及びTAC 等に関する通常の助言に加えて、ニュージーランドは、クオータの繰越し規定の変更、特に現在の複数年にわたる繰越しを禁止している規定の変更による影響の可能性について、ESCによる評価を求める文書を提出する意向である。

12. 新たなMPの開発

最新の進捗状況について報告するとともに、詳細な作業計画を策定する。

13. SRPのアップデート

調査及びMP に関する拡大委員会による最近の決定を踏まえ、必要に応じてSRP をアップデートする。

14. 2018年におけるデータ交換要件

15. 調査死亡枠

16. 生態学的関連種作業部会（ERSWG）

16.1 生態学的関連種作業部会からの報告

2017年3月21日から24日にかけて、第12回ERSWG会合が開催された。ERSWGの付託事項は以下のとおり規定している。

「生態学的関連種作業部会は、科学委員会を經由して、委員会に報告する。科学委員会は、生態学的関連種作業部会の報告書について委員会に対しコメント（助言及び勧告を含む。）を提出することができる。」

ESCは、ERSWG報告書の何らかの点に関して、拡大委員会にコメントを提出するかどうかを検討する必要がある。

16.2 CCSBT科学オブザーバー計画規範のレビュー

ERSWGは、ESCに対し、科学オブザーバー計画規範のレビューを行うよう要請した。ERSWGは、レビューの際は電子モニタリングの取入れについて検討すべきであり、オブザーバーが用いている生存状況コードを他RFMOの科学オブザーバーが用いているコードと調和させることを検討すべきであるとコメントした。ERSWGは、ESCにおいて検討されるこれらの点について、メンバーからESCに対して具体的な提案を行う必要があるとした。

17. 2018年（及びそれ以降）の作業計画、スケジュール及び研究予算

17.1. 2018年の研究活動案の概要、スケジュール及び見込まれる予算と、作業計画及び予算に対する科学調査計画の影響

17.2. 次回会合の開催時期、期間及び構成

18. その他の事項

19. 会合報告書の採択

20. 閉会